

# カゼ（呼吸器病）を予防しましょう！！！！

牛のカゼ（呼吸器病）は様々な原因で起こります。免疫力が低下した牛がウイルスや細菌などに複合的に感染し、ストレス等が加わって発生する牛呼吸器病症候群（BRDC）と呼ばれ、死亡率が高く、回復した場合でも、多くは発育不良となり、経済的な損失が極めて大きな病気です。

## 1 呼吸器病はなぜ起こるの？

- ① 換気不良で畜舎にアンモニア・ほこりが充満
- ② 気候の変化・密飼いによる環境ストレス
- ③ 輸送によるストレス

アンモニア等が、喉・気管の粘膜を刺激・損傷させます。

- ④ ウイルスの感染(咳カゼ様)

例えば・・・牛 RSウイルス病は冬に多く、集団発生する病気です。

- ⑤ 細菌の感染・増殖(鼻カゼ様)

例えば・・・マイコプラズマ肺炎は1～3か月齢の子牛に多く発生します。

肺炎(BRDC)の発症！

## 2 どんな症状？

- (1) 発熱(39.5～40.0度以上) 【健康な子牛の体温は通常 38.5～39.5度】
- (2) 咳、鼻水、呼吸が異常に早い 【健康な子牛の呼吸数は通常1分間に約20～30回】
- (3) 元気消失、起立不能、哺乳困難、虚弱
- (4) 短期間に、牛舎内の子牛(時には母牛も…)に拡大



膿のような鼻水

【鼻水を呈す】



苦しく咳込む牛

【咳はエネルギーを消耗】



マイコプラズマ肺炎！  
耳が垂れています

【元気がない子牛】

出典：家畜疾病カラーアトラス（農水）

## 3 経済的な被害は？

BRDCは牛の産業界で最も大きな経済損失をもたらす疾病です。



出典：ゾエリス・ジャパンWEBサイト

呼吸器病多発牛群において、呼吸器病対策をとった結果、子牛販売価格が59千円/頭、向上したとの報告もあります。

出典  
北海道酪農畜産協会(2017)ROH2017/June  
「黒毛和種繁殖農家における経営的指視点からの母牛繁殖及び子牛育成成績の検討」

## 4 病気を出さないためには

### (1) 清潔な飼育環境の確保に努めましょう。

- ① 牛舎内温度は 18℃前後が理想的、保温や換気を小まめに行いましょう。
- ② アンモニアは肺の組織を傷つけます。臭気がこもらないように換気しましょう。
- ③ 汚れた敷料は、病原体（下痢症）の温床です。乾燥した敷料に小まめに交換しましょう。
- ④ 牛舎を明るくすることで汚れを見つけやすくしてください。紫外線によって病原体を死滅させる効果もあります。
- ⑤ 牛 1 頭当たりの面積を十分に確保しましょう。密飼いは病気のもとです。

### (2) 子牛・導入牛の管理に注意しましょう。





- ① 出生子牛は、体をよく拭いて被毛を早く乾かしましょう。  
冬季は、寒さ対策（保温ランプ設置、カウジャケット着用等）をしましょう。
- ② 導入牛は、隔離飼養（導入後 2 週間程）し、健康状態を観察しましょう。

### (3) ワクチンを接種しましょう。

ウイルスや細菌の感染に対抗するには、**ワクチン接種が第一**です。

市場に上場する際に義務付けられているワクチンも、より効果の得られる時期に接種してください。また、自家保留する場合でも必ず接種しましょう。母牛にも定期的に接種することで免疫を補強し、初乳から子牛に移行する免疫の効果を高めるようにしましょう。

#### 牛の呼吸器病予防管理プログラム例

ワクチン種類	効果	接種方法	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・牛 5 種混合ワクチン</li> <li>・牛 6 種混合ワクチン</li> </ul>	複数のウイルス感染から子牛を守ります	子牛 生後 1 か月  4~5 か月齢 	母牛 種付け 1~2か月前  種付け 
・マンハリア 不活化ワクチン	一番多い細菌感染から子牛を守ります	子牛；生後 1か月に 1 回接種 (発症時期で投与が異なるので獣医師に相談が必要)	

## 5 病気の牛を見つけたら

- ・ 病気の発見が遅れると、症状を重くするばかりか、治療にも時間がかかります。
- ・ 特に生後～3か月の子牛の時期にこじれる（ヒネる）と、その後の発育に影響します。
- ・ 早期治療が大事です。『いつもと違うかな?』と思ったら獣医師に相談し、早めに治療しましょう！

#### 問い合わせ先

岩手県中央家畜保健衛生所 019-688-4111    岩手県中央家畜衛生協議会    019-688-4015  
 岩手県南家畜保健衛生所 0197-23-3531    岩手県南家畜衛生推進協議会    0197-24-5532  
 岩手県北家畜保健衛生所 0195-49-3006    岩手県北家畜衛生協議会    0195-49-3040  
 一般社団法人岩手県畜産協会 019-694-1300